
何が為に人が死ぬ

カウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

何が為に人が死ぬ

【Nコード】

N6602B

【作者名】

カウ

【あらすじ】

山奥の山荘に残された6つの死体と携帯電話、そして1通の遺書。彼らはいったい誰に殺されたのだろうか？作者から読者へ送る推理パズル第2弾。あなたは真実にたどり着けるか！

幕開け

私とその館に着いたとき、既に他の5人は到着していた。これでも早く出てきたつもりだったのだが。もっとも、全ての準備は済んでいる。誰がどの順番で訪れようが関係はない。これから何が起きようとしているのか、おまえたちには想像もつくまい。ただの慰安旅行だと思って、楽しんでいる。おまえたちはまったく理解できていない。彼女がどれだけ苦しんだのかを。

私が訪れてからどれだけの時間が経ったのだろう。館の外で激しい音がしたのを聞き、皆慌てて外へ飛び出した。皆が乗ってきた車が炎上している。

そうだ、これでいい。償いのときの始まりだ。おまえたちも、私も…

酷く荒れた山道を1台のパトカーが走っていた。

「こんな何もない山奥によく人が集まったものだ。」

三木刑事は愚痴をこぼしながらも目的地へ向かった。

「これは酷い…」

館の前には黒こげの車が六台止まっていた。とりあえず車の中には誰もいないようだ。

館の中には腐敗臭が立ちこめていた。そして思わず目を逸らしたくなるほど、腐敗の進んだ死体が6つ並んでいる。

「なんでこんなことに？」

ふとテーブルの上に乗っているものに目がいった。そこには遺書と書かれた封筒と6つの携帯電話が置かれていた。

遺書と携帯電話

封筒の中には次のような手紙が入っていた。

私はこの館で5人の人々を殺害しました。しかし、私は決して血にうえた殺人者ではありません。これは、私にできる復讐です。

私には彼女がいました。最愛の恋人が。彼女は自殺しました。彼女は耐えられなかったのです。自分が犯罪者の妹であるという事実

に。
確かに彼女の兄、井上一透さんは研究所の所長を殺した犯罪者です。しかし、なぜ彼は犯罪を犯してしまったのか。彼は研究所のデータを別の企業へ流していました。それが所長にばれた為に殺害したのです。

企業はデータを売ることと莫大な利益を得られる。そのために井上氏を利用したのです。そして、その企業は他ならぬ私が勤めている企業だったのです。私は知らぬ間に自分で自分の愛する人を追い込んでしまっていた。

私は死にます。この悪行を考え出した者たちと共に。

この件に関しては皆同罪です。私が誰かなど突き止めないでください。

最後に、死体の身元が分かりやすいように死体発見直後の様子をその死体の持ち物である携帯で写真を撮っておきました。無論私の写真は死体の振りですがね。

パソコンで作られた物だ。筆跡は分からない。

次に携帯電話の画面を見た。

1つ目の画面には西洋風の刀が頭に刺さった女性が1人写っていた。

2つ目の画面にはコーヒークップを片手に、血を吐き倒れている

女性と誰のものは分からないが2人分の足が。

3つ目の画面には矢が刺さり倒れている男性とそれを見ている2人の人が。1人は先ほど血を吐き倒れていた女性、もうひとりはまだ見たことのない男性だ。彼らの背後には日本刀、刀を持った西洋の鎧が飾ってある。

4つ目には、倒れている男性。そばには折れた日本刀が落ち、床はその刀によって傷ついている。

5つ目には拳銃で撃たれ倒れている男性。その周りの床は4つ目と同様に傷ついており、倒れた男性を2人が見ている。1人は足だけしか写っていないが、もう1人は2つ目の写真で倒れていた女性だ。

最後の写真には首を吊っている男性。後ろには刀を持った西洋の鎧が飾ってある。

「なるほど。」

三木刑事は6つの死体を眺めた。

刀が刺さったもの、矢が刺さったもの、斬られた痕のあるもの、銃で撃たれたもの、目立った外傷のないもの、首に縄の痕があるもの。それらが一列に並んでいる。

「そうか…」

三木刑事はある死体の前に立ち、顔を見つめた。

「あなただったんですね。こんなことをしたのは。」

三木刑事は静かに手を合わせて一礼した。その死体を見つめながら…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6602b/>

何が為に人が死ぬ

2010年10月28日03時20分発行